問 妊婦歯科検診助成開始は
答 21年度実施に向け検討

河田美穂 議員（公明党）

❶妊婦健診の検査項目に、母乳からの感染率が高いといわれている、ＨＴＬＶ－１（ヒトＴ細胞白血病ウイルスＩ型）の抗体検査を導入してはどうか。

保健福祉部長　現状では新たに実施していく予定はないが、今後、国や他の自治体、医療機関の動向も踏まえ、調査研究していきたい。

❷妊婦を対象にした歯科検診の助成開始はいつになるのか。また、妊婦の体調に合わせられる個別受診にしてはどうか。

保健福祉部長　平成21年度から実施に向け、どのような方法でするかなど、検討を進めている。

❸公共施設におむつ替えや授乳の際に立ち寄って利用できる「赤ちゃんの駅」の設置を要望する。

保健福祉部長　新しい施設整備にあたっては、そのような配慮も必要ではないかと考えている。

❹乳幼児の安全確保のため、市役所内にベビーカーを設置してはどうか。

保健福祉部長　来庁の際は、それぞれご自分で対応していただいている。

❺市役所内に来庁者向けの無料一時保育ルームを開設してはどうか。

総務部長　現状は、設置スペース、人員体制の問題などがあるが、将来的には、庁舎の大規模改修等を見据えた中で検討したい。

市コミュニティホールで開催された「歯のひろば」

❻緊急地震速報の市民周知の対策は。

危機管理監　市としては、エレベーターの中へ貼紙をしたり、あるいはドライブされているときにラジオをつけましょうなどの周知はしたい。防災と防犯の広報紙によるシリーズも続けているので、特に緊急地震速報のいわゆる利用心得を中心に行っていきたい。

❼駅前等にスーパー防犯灯を設置してはどうか。

安心まちづくり室長　府警本部では、費用対効果等を考え、新たな許可は考えていない。

問 人間ドック 75歳以上の方へ助成を
答 広域連合ではできない

水野恭子 議員（共産党）

「これからは安心して老後を過ごしてください」と天寿に敬うのが政府や政治家の仕事ではないか。75歳という年齢で医療を差別し、年金から強制的に天引き、所得の低い人からも保険料をとるなど市民の怒りは大きい。京田辺市の議会でも3回も反対の意見書を提出した。政府自身も見直しをいわざるを得ない大きな情勢の変化の中で、市長は市民の声にこたえて廃止の意見表明をすべき。

市長　将来にわたって誰もが安心して医療が受けられる保険制度を維持するため、設けられたものの。機会を通じて改善を要望したい。

❷75歳以上の方の人間ドックに助成がなくなり、事実上受けられない状況になった。これは医療差別ではないか。市として一般会計から予算を出して補助をすべき。助成を行っている自治体もある。

市民部長　後期高齢者連合でできないと決めている。

❸特定健診のメタボリックシンドロームは科学的根拠があるのか、特定健診について今までの健康診査の基準を下げるべきではない。

保健福祉部長　医師会とも相談して健康診査を行う。

❶後期高齢者とは、戦前、戦中、戦後、額に汗して働き、世界第2位の経済力の日本をつくってきた人々です。本来ならば、国の制度で要望したい。

❹父子家庭への助成の拡大を。母子家庭では、国の制度で児童扶養手当が出されているが、父子家庭にはない。京田辺市独自の特別児童福祉手当1800円を増額すべき。

保健福祉部長　国の制度で要望したい。

市中心部に設けられた民間健診施設

❺大住城山の産業廃棄物撤去の経過と今後の管理体制は。

経済環境部長　土地所有者の元で撤去された。今後もパトロールを行う。

❻市営墓地の拡充を。

経済環境部長　要求があるのか実態を調査する。

問 保育所・園の整備は
答 北部に用地確保を検討

米澤修司 議員（民主党）

❶集中豪雨による浸水危険箇所などへの対策は。

危機管理監　府の管理河川の浸水想定雨量は1時間95ミリとなっている。今年度中に浸水被害想定マップを配布する。危険な河川敷、堤防には看板を設置。広報紙で防災意識の啓発も。

❷公用車、福祉施設、学校給食、建設事業等への物価高騰対策は。

総務部長　公用車の燃料代は昨年12月に比べ1・2倍、灯油代も大幅に上昇、負担増を懸念。省エネや経費節減に取り組む。

保健福祉部長　福祉施設では送迎車両の燃料やプロパンガス等が高騰、経営努力で凌ぎ、当面は国や府の対策を見守る。

教育部長　牛乳代は月30円のアップ。小麦、乳製品等の高騰に献立の工夫や食材の選択等で努力しているが工夫には限界も。値上げは慎重に検討。

建設部長　資材の価格高騰に対し契約変更出来るよう運用基準を定めた。

❸地方分権推進委員会勧告に伴う市町村への権限移譲についての考えは。

総務部長　府からは平成21年4月からの移譲事務の内容が示された。市は担当部局で整理・検討中。必要に応じて体制の整備も。府には人的、財政的支援を求めたい。

民間保育園での子どもたちの様子

❹保育所・園の現状と整備についての考えは。

保健福祉部長　公・私立合わせて定員810名に対して888名が入所。待機児童は18名。河原保育所建て替え完成後、定員は30名増となるが北部地域での児童数増を見込み施設整備を検討している。用地確保などの条件整備に努めたい。

❺公用車の管理体制と点検整備について。

総務部長　適正な配置をすべく一括管理を行っている。今後オートマ車に変える必要も。車検・定期点検・修理の契約金額は工賃等を別にしてゼロ円で落札されている。

問 JR学研都市線 整備と輸送力増強を
答 ダイヤ改正時に強く要望

小林喜代司 議員（一新会）

❶ＪＲ京田辺駅から木津駅まで7両編成化の工事が進められているが、多くの市民の念願である始発、最終電車の京田辺駅までの延長と、田辺地区の信楽街道踏切と興戸地区の第二和井田踏切の拡幅整備も、この際一体化として進めるべきであると思うが市の考えは。

安心まちづくり室長　夜間時間帯の0時43分ＪＲ松井山手駅止まりの電車を木津駅まで延長していただくよう期成同盟会を通じて繰り返し要望している。7両編成化にむけて始発、最終も含めた大幅なダイヤ改正が考えられていることから引き続き強く要望していく。

建設部長　踏切の拡幅は構造的・技術的な問題や市内での踏切の統廃合の課題があり、ＪＲとの協議は難航しているが、このたび国から新たなＪＲ踏切の安全対策に関する方針が示された。今後、積極的に協議を進めていきたい。

市内ＪＲ駅で最も乗降客の多い京田辺駅

❷府の管理河川の天津神川の下流域一帯は本市の中心市街地である。上流一帯は住宅地をはじめ大きく開発されてきたが河川整備は全く進んでいない。河川の安全性を心配する市民の声が大きく出ているが市の対応は。

建設部長　府の管理する一級河川であり防災上の観点からも河川改修を強く要望しているが改修のメドは立っていない。最終的には天井川の切り下げを京都府に要望している。流域内での開発行為については許可権者である府に対して治水対策も含めて開発指導を行うよう強く要望している。

❸市道新新田辺線の田辺地区の草屋付近の急カーブは事故も多く発生し、（通称）浜新田道の信号機設置も含めた安全対策が地元からも強く出ているが市の対応は。

安心まちづくり室長　地元からの信号機設置の要望は市長名で田辺警察署に提出して毎年要望箇所として挙げている。